



ももてんちやん

「区政会議」でいただいたご意見への対応状況をご紹介します！！

～「令和元年度第1回区政会議」～

■区政会議とは

区政運営にかかる方針や区における施策・事業について、区民の皆様からご意見・評価をいただき、そのご意見等を施策・事業の改善や新たな展開等に反映させていくために、各区において開催しています。

■第1回区政会議を開催しました(令和元年8月7日)

「平成30年度運営方針の実績・評価」および「今後取り組むべき事業」について議論を行い、委員の皆さんから次のようなご意見をいただきました。

※分類

- ①当年度(元年度)において対応
- ②2年度運営方針に反映または2年度に対応予定
- ③2年度では対応できないが、今後引き続き検討
- ④対応困難または対応不可
- ⑤その他

番号	いただいたご意見	対応状況(令和元年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
1	【区政会議】 区政会議における防犯・防災に関する議題については、警察や消防の代表者に出席していただき、委員の生の声を聞いていただきたい。(萱野委員)	区と警察・消防とは日常から密接に連携しており、警察・消防に伝える必要がある区政会議で出たご意見は情報共有しているため、現時点で区政会議への警察・消防の参加は必ずしも必要ではないかと思えます。今後、安全・安心に関してより専門的な意見交換が必要な喫緊の課題が出てきた場合は、関係者として出席を求めるところを検討します。	③	—
2	【情報発信】 SNSによる情報発信は高齢者にとっては馴染みが薄く、区広報紙は編集の締切が早いので、タイムリーな情報発信が難しい。「上町台地の地域情報紙 うえまち」は天王寺区に配布されており、区役所情報掲示板以外にも、記事を載せてもらってはどうか。(中野佳弘委員)	区広報紙、「うえまち」ともに企画編集を行う紙媒体という性質上、締切から発行日まで相当日数を要するため、急きょ周知すべき情報を発信することができないという点においては、タイムリーな情報発信ができる媒体とは言い難いといえます。 広報紙に掲載しきれない情報についてはLINEで積極的に周知するなどSNSを活用しておりますが、SNSになじみの薄い層に向けても、これまでどおり区広報板へのポスターの掲示など他の媒体を活用し、充実してまいります。	①	【元年度予算額】 ・広報板等その他 485千円
3	【情報発信】 行政情報やイベントを調べたいときは、区広報紙に興味関心を持つが、継続して区広報紙を読んでもらえるような仕組みを考えてはどうか。(吉田委員)	継続して広報紙を読んでいただくためには、個別配付申込みを行っていただくことが確実な方法と考えております。このためには、あらゆる媒体、場面で配布申込みを行っていただけるよう周知を行ってまいります。	①	【元年度予算額】 ・区広報紙 14,628千円
4	【情報発信】 試行的に学校を通じて児童に区広報紙を配り家庭に持ち帰ってもらうことで、個別配布の申込みが増えるのではないかと。(中野浩志委員)	学校を通じての区広報紙の配付については、校長会において協議し、年1回の特集号など試行的に配付することは可能であると考えます。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組1-1-3 “伝わる広報”を意識した情報発信の強化 2年度算定見込額 15,394千円
5	【情報発信】 区広報紙は折込で配布を行っているが、新聞購読者は減少しており、町会の回覧板の周知効果も薄れてきているように感じる。学校を通じて児童にイベント等のチラシを配り家庭に持ち帰ってもらうことで、保護者にもイベントが認知されるのではないかと。イベントの周知手段は、広報紙等の紙媒体やSNS等さまざまな手段を組み合わせることが重要。(竹田委員)	子ども向けの事業やイベントの周知については、すでに学校を通じてチラシ等の配付を行っていますが、今後も積極的に取り組んでまいりたいと考えています。 また、情報を入手する媒体は多岐にわたることから、あらゆる媒体を用い多面的に発信することが重要と考えます。	①	【元年度予算額】 ・区広報紙 14,628千円 ・広報板等その他 485千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和元年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
6	【人材育成】 多文化・国際理解教室を職業体験のように全学校で実施できないか。(平嶋委員)	社会のグローバル化が進展する中で、多文化・国際理解教育を充実させることは重要であると考えています。学校での取組について、校長会等において情報を共有し、各学校の意向をふまえ、学校教育での支援のあり方を検討してまいります。	⑤	—
7	【人材育成】 グローバル人材育成事業について、低学年の参加は多いが中学生の需要が少ないのであれば、この事業を続けることがどうなのか考える必要があるのでは。(出水委員)	グローバル人材育成事業は、将来意欲的に海外に挑戦し、活躍する人材を育成することを目的として実施しています。来年度から小学校での外国語(英語)の教科化が始まることから、中学生を見直し低学年の参加枠を増やすとともに、就学前から外国語に触れる機会を望む子育てニーズに対応するため、就学前児童とその保護者を対象とするプログラムを拡大してまいります。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組2-1-1 グローバル人材の育成 2年度算定見込額 2,373千円
8	【人材育成】 「日本一の文教『都市』」を目指すことは大変いいことであるが、何をもって測るのか。どのような基準で判断していけばよいかを考える必要がある。(山崎委員)	区内には教育関係機関が集積していることから、関係機関と連携し優れた教育・人材育成の機会を区民に提供できるよう「日本一の文教『都市』」をめざすことを経営課題に掲げ、取組を進めています。取組を進めるにあたり、今後も区政会議や教育会議などの会議のほか、つなげ隊や区民モニターなど様々な機会をとらえて区民の意見を把握し、施策の反映に努めてまいります。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組2-1-1 グローバル人材の育成 2年度算定見込額 2,373千円 ・具体的取組2-1-2 中学生キャリア教育の支援 2年度算定見込額 73千円 ・具体的取組2-1-3 次世代の地域担い手の育成 2年度算定見込額 260千円
9	【学校施設】 学校のブロック塀の対応について、天王寺区の状況はどうか。まだ危険な箇所があるのか。(一本松委員)	学校園のブロック塀については、関係局において現地調査を行い、必要な改修について順次対応を進めているところです。天王寺区においては、平成30年度に大江小学校・生魂小学校が改修済み。令和元年度に高津中学校・大江幼稚園・生魂幼稚園が改修予定です。なお、真田山小学校については、校舎の増築工事とあわせて行うため改修日程は未定です。	⑤	—
10	【学校施設】 中学校の体育館の空調(エアコン)の設置について、全ての学校に速やかに設置するべきである。(平嶋委員)	中学校体育館の空調機(エアコン)の設置については、災害時の避難所における高齢者等のいわゆる災害弱者への二次被害防止のセーフティーネットとして、関係局において令和元年度から3年度までの3年間の整備計画を進めているところであり、天王寺区においては、令和3年度までに全ての中学校体育館に設置予定です。	⑤	—
11	【学校施設】 区内にはマンションが増え人口・世帯数が増加していく。学校教育環境の整備など人口増への対応を望む。(萱野委員)	学校の教育環境の整備については、教育委員会において順次進めているところです。今後とも各学校の状況について教育委員会と情報共有し、対応を働きかけてまいります。	⑤	—
12	【子育て支援】 子育てスタート応援券について、2歳の誕生日までしか使えないので、2歳まで使えるようにしたら、より使い勝手が良いのではないか。(出水委員)	応援券は、子育てのスタート時期に子どもの体験・教育等の機会を提供するとともに、養育者の子育ての負担感や不安感を軽減するためのサービスを提供し、サービスを継続して利用していただく、きっかけづくりを行う趣旨で実施しています。	④	—
13	【子育て支援】 病児・病後児保育についてのニーズは高いと思う。区内では現在1か所しかなく、また、キャンセル時の施設側の負担が大きい。天王寺区は病院が多いので病院に協力をしてもらったらどうか。(井川委員)	病児・病後児保育については、大阪市こども・子育て支援計画に基づき整備を行っています。必要数は市内であと1箇所となっており、天王寺区も公募実施区となっています。また、キャンセル時の負担が大きい点については、市の担当であるこども青少年局も認識しており、国へ改善の要望を行っています。	⑤	—

番号	いただいたご意見	対応状況(令和元年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
14	【子育て支援】 待機児童が1名とあるが、これで保育所はもういいと思ってもらっては困る。今後は保育所の質や、園庭などの環境面も考えていって欲しい。(平嶋委員)	保育内容の充実については、こども青少年局への働きかけを継続的に行い、また、保育士募集の広報に協力するなど充実に向けて取り組んでまいります。	⑤	—
15	【独居高齢者等見守り】 「独居高齢者等見守りサポーター事業」開始時に一斉に見守り希望を聞いているが、その後も周知が大事ではないか。(菊山委員)	「見守り相談室」の事業周知として、ちらし・ポスター等を作成し、区役所などの公的施設での配架、区広報板へ掲出、地域の「高齢者食事サービス」や「ふれあい喫茶」の場等での周知を行っています。また、天王寺区広報紙や天王寺区社会福祉協議会発行の「ゆうあいだより」への掲載やホームページで区民に周知をしているところです。 引き続き、地域、天王寺区社会福祉協議会とも連携しながら、事業の周知に努めてまいります。	①	【元年度予算額】 ・独居高齢者等見守りサポーター事業 5,179千円
16	【独居高齢者等見守り】 今の75歳は元気なので同意が少ないのではないかな。もっと上の年齢の人も孤立しないよう、再度声かけができないか。(上戸委員)	独居高齢者等見守りサポーター制度においては、毎年度、新規対象者に同意確認を行い、同意いただいた方の見守りを行っております。今後は、80歳になられた際に、同意されていない方を対象に、再度、意向確認を行うとともに、随時、見守りの受付をしていることなど、引き続き、事業の周知・啓発に努めながら、見守り活動を推進してまいります。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組3-1-1 独居高齢者等見守りサポーター事業 2年度算定見込額 5,262千円
17	【健康】 ・「いきいき百歳体操」の取組をしているが、高齢者が集まることで認知症の予防になるし、筋力アップにも効果がある。(江畑委員) ・運動や趣味の集まりに参加して健康づくりをしているが、人生百年時代に向けて大事なことだと思う。(高木委員)	今後も、介護予防の効果が実証されている「いきいき百歳体操」や筋力アップの「もてん体操」を健康出前講座をはじめ、いろいろな機会において周知及び実技指導を行い、より多くの方が参加できるよう支援してまいります。	①	なし
18	【健康】 大阪市から委嘱されるスポーツ推進委員が天王寺区に22人いるが、「いきいき百歳体操」をどこでしているのか知らない。部署ごとの情報共有が必要ではないか。(片岡委員)	「いきいき百歳体操」については、改めてスポーツ推進委員の皆さまへ周知させていただきます。また今後も、実施している部局が違っていても、区においてはより多くの関係者へ情報共有できるよう努めてまいります。	①	なし
19	【健康】 何かのきっかけを提供することで、がん検診の受診は増えると思う。(三宅委員)	今後がん検診受診呼びかけのポスター・チラシの作成、区広報紙等での周知、地域へ出向いた際に直接受診勧奨を行うなど、がん検診受診へのきっかけとなるよう取り組んでまいります。	①	【元年度予算額】 ・がん検診周知事業 186千円
20	【防災】 昨年の台風で被災した家屋とみられるが、屋根に張ったブルーシートを土のうで固定している。落下のおそれもあり危険なので、区役所で何とかしていただきたい。(小野委員)	私有地内の案件であり、基本的には所有者責任での対応となりますが、危険な状況にあるものについては、老朽危険家屋としての指導等を含め、事業所管局である都市計画局に対し検討を要請してまいります。	⑤	—
21	【防災】 非常準備品の用意率は51.5%と目標の70%以上までは伸びていない。ローリングストックや、不要なものを捨てずに必要としているところに回して有効利用できる仕組みがあれば率は伸びるのではないかな。(松下正克委員)	非常準備品については、災害用の保存食に限らず、普段から利用する保存可能な食品をローリングストックすることで、無理のない備蓄が可能となります。引き続き区広報紙等によりローリングストックの有効活用についての啓発に努めてまいります。	①	【元年度予算額】 ・災害対策情報発信 203千円
22	【防災】 マンション防災などを通じて、地域の防災行事への参加を促進する取組みを進めていただきたい。(東浦委員)	いざという時に備えた訓練は勿論のこと、マンション住民と当該地域の住民が顔見知りとなって、人と人とのつながりづくりを醸成していくことは重要であり、今後とも、マンション防災の取組を通じて、地域との関係づくりをめざした支援を行ってまいります。	①	【元年度予算額】 ・防災出前講座 637千円 ・地域資源との新たなつながりを活かした防災の取組 3,386千円
23	【防犯】 防犯カメラの設置台数を増やしていただきたい。(東浦委員)	防犯カメラについては、区役所や関係局において設置を進め、平成30年度末現在、区内に145台を設置済みです。 さらに、今年度区役所において5台を増設する予定であり、累計設置台数は150台に達する見込みです。 今後とも費用対効果を検証しつつ、より効果的な場所への設置に努めてまいります。	①	【元年度予算額】 ・街頭犯罪対策事業 2,670千円

番号	いただいたご意見	対応状況(令和元年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
24	【駐輪】 駐輪場に予算をかけているのに、違法駐輪がなくならないと感じる。 また、自転車の駐輪場はたくさん設置されているが、ミニバイク用の駐輪施設が少ないので増やしていただけないか。 (萱野委員・林委員)	駅周辺の放置自転車を無くし、安全で安心して通行できる道路の確保に向けて、事業所管局である建設局に対し、ミニバイクも含めた放置自転車対策の、より効果的な実施について働きかけを行ってまいります。	①	【元年度予算額】 ・自転車利用適正化事業「Do!プラン」 2,061千円
25	【自転車マナー】 赤信号の無視など運転マナーが悪い。警察には取り締まりを積極的に強めていただきたい。 (東浦委員・林委員・中谷委員・田中委員)	自転車マナーの向上については、区広報紙や出前講座における啓発活動に引き続き努めるとともに、天王寺警察署に対し、取り締まりの強化を要請してまいります。	①	【元年度予算額】 ・交通安全啓発事業 2,06千円
26	【空家】 商売を行っていた建物が廃業後空家となり、更地となったが解体に時間がかかった。もう少し早く更地にしていればよかったと思う。(中谷委員)	空家等の適切な維持管理については、区広報紙やホームページにおける啓発に引き続き務めてまいります。また、保安上危険な特定空家については、所有者や相続人を早期に把握するとともに、所有者等への是正指導を繰り返し行い、早期解消に向けた取組を進めてまいります。	①	【元年度予算額】 ・空家等対策推進事業 81千円
27	【シティ・プロモーション】 上方落語の祖と言われる米沢彦八とゆかりの深い生國魂神社や上方落語まつりなど、天王寺区と落語の関わりは深いですが、住民には知られていないので、もっとPRしてほしい。(中野浩志委員)	天王寺区では、毎年8,9月に生國魂神社で行われる「彦八まつり」の前後に、天王寺区商店会連盟と共催して、天王寺MIOと天王寺区役所講堂で、ふれあい落語会を開催しています。来年度以降、区広報紙で落語を特集して効果的に情報発信できるように検討してまいります。	②	【2年度運営方針】 ・具体的取組5-1-1 天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 2年度算定見込額 1,838千円
28	【シティ・プロモーション】 大河ドラマ「真田丸」の放送の際、テレビ番組でも取り上げられ、真田丸ゆかりの地である天王寺区が注目された。他にもテレビ番組や映画のロケ地に使われれば、多くの人に天王寺区を知ってもらえる機会になる。天王寺区の魅力は他にもあるので、積極的にPRしてほしい。(中山委員)	大阪府・大阪市・大阪商工会議所など地元官民で構成する、映画等のロケ誘致・支援組織「大阪フィルム・カウンシル」に情報提供などを行ってまいります。大阪フィルム・カウンシルを通じて、2018年2月公開のジョンウ監督「マンハント」のロケ地に近鉄大阪上本町駅やてんしばが選ばれた例がございます。	①	【元年度予算額】 ・天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 842千円
29	【シティ・プロモーション】 鉄道事業者は、車内アナウンスで季節のキャンペーンを集中的に行っている。大阪メロが天王寺区内を通過する際に、車内アナウンスでイベントを周知することができれば、多くの方に知ってもらえるのではないかと。(中野佳弘委員)	大阪メロの車内アナウンスによる広報は有料となることから、費用対効果を考えながら、効果的な情報発信を検討してまいります。	④	—
30	【シティ・プロモーション】 単発のイベントでは認知されにくいですが、季節ごとの風物詩のように定着すれば、多くの方に意識づけできるのではないかと。(吉田委員)	天王寺区で毎年開催している、9月の天王寺区民まつり、11月の歴史ウォーク、12月のてんのうじ吹奏楽フェスティバルなどの定例イベントについて、広報紙などを活用して、イベントカレンダーなどで効果的に情報発信できるように工夫してまいります。	①	【元年度予算額】 ・天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業 842千円
31	【シティ・プロモーション】 天王寺区の観光資産を掘り起こし、計画的にPRを行うことで、2025年の万博開催時に日本を訪れる外国人観光客を、天王寺区に呼び込むことができるのではないかと。(中野佳弘委員)	2025年大阪万博に向けた観光振興については、全市的な取組とも連携しながら、今後検討してまいります。	③	—
32	【シティ・プロモーション(地域活動協議会)】 ・地域(地域活動協議会)が主催するイベントと、区が行うイベントがリンクしていない。地域主催のイベントにおいて、区のイベントの周知を行うことで、住民の認知度が高まるのではないかと。(竹田委員) ・地域(地域活動協議会)が主催するイベントを巡るスタンプラリーを企画してはどうか。簡素な景品を用意すればスタンプを集める為、他地域のイベントを訪れるきっかけになり、他の地域イベントの良さを知ってもらうことができる。地域にとっても、活気あるイベントになるのではないかと。(中山委員・中野浩志委員)	・区内9地域中6地域では、地域活動協議会の構成団体をはじめ地域の団体が集まって一緒に地域ふれあい祭りなどのイベントが実施され、住民同士の情報交換や相互理解を深められています。地域のご理解がいただける場合は、区のイベントの告知を行うことを検討してまいります。 ・地域でのイベントに、他地域からも参加しやすくなるように、区広報紙のイベントカレンダーなどでのPRを検討してまいります。	②	なし

番号	いただいたご意見	対応状況(令和元年10月末現在)	分類	予算措置 (①②の場合記載)
33	<p>【地域活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区広報紙に地域のイベントを掲載すれば、他地域の住民や若年層の住民、転入者の参加も増えるのではないかと。(中山委員・中野浩志委員) ・区広報紙は、地域の取組みを魅力的に読んでいただき認知していただけるよう、予算に見合った努力をしていただきたい。(萱野委員・松下委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の区広報紙では、月ごとに各地域活動協議会を順次紹介し、イベント等事業も併せて紹介しています。今後、当該イベントの開催月に合わせた区広報紙イベントカレンダーでのPRを検討してまいります。 ・イラストや写真を多用するなど目をひく、読み易い紙面づくりに努めているところですが、引き続き、魅力的に読んでいただけるような情報発信に努めてまいります。 	②	なし
34	<p>【地域活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域も頑張っているし、区役所も広報紙で周知を行うなど年間を通じて周知を行っているにも関わらず、地域活動協議会を知っている区民の割合は目標の35%に達しているもの、38.7%は少ないと感じる。(東浦委員) ・地域活動協議会は活動に関わっている人以外知らないのではないかと。子育てサークルや高齢者食事サービスに参加している人ですら、地活協の活動によることを知らないと思える。食事サービスで提供される食事代にも地活協の予算が一部組み込まれていることも知られていない。地域の利用者にも地活協の活動であることと、経費の負担元を知っていただけるよう、発信することも大事と考える。(田中委員・中谷委員・東浦委員) 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の地域活動協議会の認知度は16.2%で、30年4月から広報紙や区広報板の活用など地域活動協議会の周知を行い平成30年度は38.7%の数値となりました。 ・広報紙7月号で各地域活動協議会の補助金決算状況の掲載、区ホームページでも、事業報告・収支決算書を掲載し、補助金が使われている事を確認できる状態としていますが、まだ知られていない状況と考えます。今後、他の周知方法も含め検討し、地域活動協議会の認知度向上や補助金を使用されていることの周知に努めてまいります。 	①	<p>【元年度予算額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動協議会への財政的支援 15,939千円
35	<p>【地域活動支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対応について、地活協の活動として予算を使えるような仕組みを作れないかと。(中谷委員) 	<p>私有財産への対応となることから予算措置を行うことは難しい考えます。</p>	④	—

※分類

- ①当年度(元年度)において対応 ②2年度運営方針に反映または2年度に対応予定
- ③2年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
- ⑤その他